



# パーティ

52

## いせ市民活動センター

伊勢市岩淵1丁目2番29号  
TEL0596-20-4385  
FAX0596-20-4386  
Eメール/skc@e-ise.net  
URL/https://skc.e-ise.net

■いせ市民活動センター通信は、伊勢市、またその周辺の市民活動を広くお伝えする広報紙です。

### 本年度を振り返って…

いせ市民活動センター センター長  
西川 恒夫 (にしかわ つねお)



暦の上では「もうすぐ春ですねえ〜」ですが、実感としては、「春は名だけの風の寒さや 谷のうぐいす歌は思えど 時にあらずと声もたてず 時にあらずと声もたてず…」(「早春賦」より一部抜粋)といったところ。それでも、冬至の頃に比べると日も少しずつ長くなり、梅の開花だよりも届きはじめています。年度末を迎え、皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。平素は、いせ市民活動センター事業にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて昨年来のコロナ禍により、予定していた当センター自主事業の多くが中止になり、皆さまにはご心配をおかけしました。しかし、そんな中でも活動場所提供事業をはじめ、情報誌「パーティ」の発

刊、リモートによる登録団体交流会の開催、「つながりプロジェクト」募金事業の継続、また、市民活動支援のための相談事業も日常的に行うことが出来ました。加えて、空気清浄機の設置をはじめ、登録団体への消毒用アルコールの無償配布、赤外線検温計の貸出などの特別な支援活動にも取り組むことができました。特に登録団体による交流会は、「コロナ禍での活動の取り組み」と題して、新たな日常に即した各団体活動の発表を通じて成果や課題を共有し交流を深めることができました。オンラインを活用した新しい試みでしたが、コロナ禍においては大変有効な活動方法であり、今後の事業展開に繋げていけると考えております。

新年度も引き続き、皆さまの声に耳を傾けて事業を推進して参りますので、たくさんのご意見ご要望をお寄せください。ただ、残念ながら、3月に開催予定していた「第11回いせ市民活動フェスティバル」は、実行委員会での協議の結果、中止と決定しました。熱心な活動を続けてきた登録団体の皆さまやご協賛をいただいている多くの企業や団体様には申し訳ありませんが安心安全を考慮しての結論ですので、ご了解ください。

これからも、市民活動に積極的に取り組んでいる皆さまと共に、センターとしての役割を担いながら、元気で優しい伊勢の町づくりに努めていきますのでよろしくお願いたします。

### いせ市民活動センター お知らせ

#### 北館いせシティプラザは確定申告会場になっております。

例年のように北館いせシティプラザは2月から(期間未確定・3月中旬頃まで)確定申告会場になっています。これまで開始前まで館内で並んでお待ちいただきましたが、昨年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のために、開始時刻まで入館できません。また、会場の混雑緩和のため、確定申告会場への入場には、「入場整理券」が必要です。当日に会場で配布されますが、事前に無料通信アプリ「LINE(ライン)」でも入場予約が出来ます。※ご存知のようがいせ市民活動センターの駐車場は限られておりたいへん混雑しています。なるべく公共交通機関をご利用ください。

■確定申告の問い合わせは税務署へ。TEL 0596-28-3191

#### 南館(パーティ)は通常開館しております。

南館は通常通り開館しておりますが、駐車が難しい状況です。印刷、作業、打ち合わせ等は確定申告会場の休業日である土曜日・日曜日・祝祭日、または17時以降をおすすめしています。駐車場での出入り、歩行には十分お気を付けてください。大変ご迷惑をおかけします。



## パーティ報告

## 「コロナ禍での活動の取り組み発表」交流会

令和3年11月20日

共催：みえ市民活動ボランティアセンター

登録団体の皆さんをはじめ、北館シティプラザご利用のみなさんが協力して下さった「コーヒー募金」が15万円に達しました。この募金をコロナ禍、予防対策をしっかりとりながら、活動を続けている登録団体の皆さんの活動の支援に充てたいと思い、「コロナ禍での活動の取り組み発表」交流会をオンラインで開催しました。当日の参加は、発表4団体、傍聴3団体。みえ市民活動ボランティアセンター。審査員として機関紙「パーティ」編集・森本かおりさん、伊勢市市民交流課課長木村扶美夫さん、NPO法人いせコンビニネット理事長伊東俊一さんをお願いしました。また、ファシリテーターはNPO法人いせコンビニネット浦田宗昭さんが務めました。

どの団体の皆さんもコロナ禍という厳しい環境の中で感染防止対策をしっかりとりながら、それぞれの団体の課題解決のための活動を実施。皆さんの活動に対しての責任と強い信念、なにより、その根底に今まで築いてきた人間関係の深さが十分に感じられる発表でした。

また、新たな課題に気付き、その課題解決に向け活動を開始している団体もありました。参加団体のみなさんと、コロナ禍での活動の難しさ、それでもなお活動を続ける使命感等を共有しました。

優れた発表団体には審査の上、主催者より表彰させていただきました。審査の基準は活動の優劣ではなくプレゼンのよさとコロナに負けない工夫への共感度で選定しました。

### 発表内容から

#### ・いせ日本語教室



①手作りのパーテーションを作りました。



②全員でZOOM勉強会を開催しました。

#### ・伊勢よーでる会



③マスク着用等感染拡大防止の徹底。

#### ◎発表団体

##### 【大賞】

・いせ日本語教室【大賞】

##### 【特別賞 3団体】※発表順

・伊勢よーでる会

・子ども未来会議

・認定NPO法人

ときわ会 藍ちゃんの家

#### ◎傍聴団体

・車いすde伊勢神宮参拝プロジェクト

・クッキングサークルひまわり

・NPO法人

三重みなみ子どもネットワーク

#### ・認定NPO法人ときわ会 藍ちゃんの家



④真空冷凍総菜の無料提供



⑤FEクリーン水生成機 (次亜塩素酸水) 設置



### コーヒー募金／美味しいコーヒーを飲んで、市民活動に寄付!

「コーヒー寄付コーナー」(南館1階)で提供されている一杯100円のドリップコーヒー、その収益の一部が市民活動団体支援に活用されます。どうぞご利用ください。

## 新規登録団体

活き活き卓球の会	スポーツ(卓球)を通し、日頃の運動不足を改善するとともに、会員相互の親睦を図り活き活き感を楽しむことを目的としている。 基本的には毎週1回実施
We are 献血	三重県や伊勢市の10代、20代の献血率を上げるために、広報やイベントを行う。 広報活動及び、献血センターと大学生や若者をつなぐコーディネーター。

いせ市民活動センター **ご利用ガイド**

## ご利用時のルール

北館いせシティプラザ、南館パーティの会議室をご利用していただくにあたり、新たな「貸館ご利用ルール」を定めました。必ず内容をご確認の上、ご予約をお願いいたします。

ご利用の際は、通常の申請書のほかに、

- ①「施設利用に係るチェックリスト」 ②「参加者名簿」(名簿は1か月後に廃棄します)の提出をお願いしています。ご協力よろしくお願いします。

いせ市民活動センター(南館)パーティでは

市民公益活動を行っている団体(市民活動団体)に団体登録をしていただくことで会議室利用、貸事務所利用など、様々なサービスを受けることができるようになります。また、市民公益活動を行っている個人も登録をすることができます。

●対象としているのは…

- ①伊勢を拠点として活動している市民活動団体  
②伊勢市民が参加している市民活動団体  
③伊勢市を拠点として市民公益活動をしている個人

※市民活動団体で伊勢市外に活動拠点があり伊勢市民が参加していなかったとしても伊勢市の市民公益活動の増進に寄与する団体であるとセンターが認めた場合は団体登録できることとします。

市民活動を  
応援しています

## 市民活動団体支援の主な内容

- ①施設設備のご利用
- 印刷機のご利用  
※大判印刷、横断幕、立て看板等もできます。
  - 貸しブースのご利用
  - 会議室のご利用
- ②広報活動支援
- 情報紙「パーティ」でのイベントご案内  
・会員募集等の団体紹介
  - ZTV行政チャンネル放送  
※団体様ご出演にての団体活動紹介
- ③その他 相談活動
- なんでも相談  
・NPO法人立ち上げに関する事や  
団体運営の課題等  
・パソコン相談等…
- ★詳しくは、いせ市民活動センター窓口でおたずねください。

助成金  
情報

- 市民活動、社会貢献活動には、活動をサポートするさまざまな助成金があります。  
NPO 市民活動等の助成金・補助金の情報は下記のホームページから調べられます。

○伊勢市 <https://www.city.ise.mie.jp/>

■サイト内検索で「補助金等の一覧」で検索

[https://www.city.ise.mie.jp/shisei/zaisei\\_kaikaku/1004290.html](https://www.city.ise.mie.jp/shisei/zaisei_kaikaku/1004290.html)

○公益財団法人 助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/>

■助成金情報クリック(知りたい情報を検索で絞れます)

○三重県 <https://www.pref.mie.lg.jp/>

■サイト内検索で「補助金 助成金」で検索

○内閣府NPOホームページ <https://www.npo-homepage.go.jp/>

■サイト内検索で「補助金 助成金」で検索

「内閣府NPO施策ポータルサイトの全面リニューアルについて」から「NPO施策ポータルサイト」をクリック

## パソコンサークルさくら 生徒募集

私たちはみんなが楽しくパソコンでイラスト、はがき、広告、会計簿、動画などが作れるようになる目的をもって活動しています。

主にワード(文書作成ソフト)、年賀状、インターネットをしていますが、会員の希望によってエクセル(表計算ソフト)、パワーポイント(プレゼンテーション資料作成)などもしています。

パソコンをみなければ打てない、買おうかどうか迷っているけど出来るかどうか自信が無い、という人でも大丈夫です。キーボード入力は覚えなくてもいいです。パソコンは体験の間、貸しますので、自信がついたら買ってください。活動にはノートパソコンを持ってきてください。出来れば、ウィンドウズ8.1以降のパソコンを持ってきてください。

今、大きな問題になっているWindows10からWindows11にアップデートもわかりやすく指導します。

活動は、火曜日、木曜日の1時から3時まで市民活動センターでしています。

問/前田 TEL 090-7673-6926



## イセハッピーキャッツ Ise Happy Cats



Ise Happy Catsは猫のTNR活動を中心に、TNR活動に関わる猫の保護、一時預かり、譲渡、保健所ボランティアを支えるお手伝いなどをしております。

TNR活動とは野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術(Neuter)を施して、その証に耳をカット(さくら耳)にし、(元のテリトリーに戻る(Return)活動)のことです。TNR活動は猫の殺処分数を減らし、不幸な猫を減らすのにもっとも有効な方法です。環境省も推進しています。猫はたとえ飼い主のいない野良猫でも、法令上愛護動物と定められており、駆除することはできません。また、別の場所に移すなど、遺棄は犯罪です。猫達を地域で可愛がっていただき、増やすことなく、その場で一生を過ごすことが望ましいと考えております。

只今20匹ほどの猫の新しい家族を募集しています。You TubeやInstagramで、かわいい猫ちゃんを見てみてください。

問/中村 isehappycats@gmail.com



## 子ども未来会議(伊勢志摩不登校ひきこもりを考える会)

伊勢分会1999年発足22年続けてきました。

通常のメンバーは、4名で拠点はいせ市民活動センター南館パルティです。参加者は随時変わっています。市民活動のなかで周知していく事で、会の活動を知ってもらったり、過去には、コンサートや映画上映、フェスに参加するなかで会の周知や協力を得られています。しかしこの2年間は、コロナの影響もあって大勢集まることはできませんが、コロナならではの悩みによって隠れた不登校、ひきこもりやたくさんの方の問題に一人で悩まないよう祈るような気持ちでいます。不登校は状況によって今や小学校からの

不登校、大学生の不登校と、どの生徒学生にも起こりうる現象です。どの地域やどの集団にも存在している事で、特別なことではありません。親の立場から見て子どもたちの今を、そして未来を考えてまず子どもたち、親たちが独りぼっちにならないようにと考えています。参加者と世話役とスタッフは、お互い学びながら少しずつ歩んでいこうと考えています。過去に何が起こったかを検証しながら今をどう考えて行動するか知恵を出し合ってよい方法を探っていきたいものです。

問/浦田敦子 aurain8185@gmail.com

## ふくしまいせしまの会

福島第一原発の爆発事故から11年が経とうとしています。

「ふくしまいせしまの会」は、2011年11月に立ち上げ原発から漏れた放射性物質のからだへの影響を考へて福島の方々を中心に伊勢志摩で少しの間生活してもらおうという活動を行い、2020年春までにお呼びした方は延べ700名を超えました。また、食べ物から体内への影響を心配するお母さんたちのご意見を受けて、伊勢市の農家団体にご協力いただき、伊勢の野菜を毎月、約7年間発送してきました。

その後必要なのは何かを考へ、チェルノブイリ事故の後5年目に作られた「チェルノブイリ法」があることを学び、「原発事故に伴う放射能被害から伊勢市民を守るための条例」作りに向けて活動を行ってきました。これまで伊勢市の有権者に署名を呼び掛け、2回目では必要数にあと一步の約2,000筆の署名をいただきました。私たちは次回の事故が来る前にこの条例制定に向けて発信をしていきます。

問/上野 TEL090-7672-9941



### 登録団体情報

■会員募集 ●活動紹介

#### ■伊勢リサイクルプラザ

##### ●会員募集

平成18年に「もったいない宣言」をし、地域住民参加型の教室や出前講座を通して、ごみの減量や環境問題について啓発活動をしています。「こんな小さな工夫が…」と思うようなことでも、ごみ減量の一步につながることはたくさんあります。美しい地球を、美しいまま次世代に残すために、まずは関心を持っていただきたいと思います。そしてリサイクルプラザを拠点にして、一緒に啓発活動に参加しませんか？また、機関誌「リサちゃん通信」も発行していますのでご覧ください。

問/伊勢広域環境組合リサイクルプラザ

TEL・FAX 0596-38-2800

##### ●もったいない教室参加者募集

伊勢リサイクルプラザでは、ごみ減量の啓発活動を目的としたリサイクル教室を開催しますので、お気軽にご参加ください。

- 開催時間 10:00～終了時間は教室によって異なります
- 参加対象者 伊勢市、明和町、玉城町、度会町に在住または通勤する方
- 参加費 各教室とも200円(EMぼかし作り無料)
- 申込方法 開催日の1カ月前から電話にて受付  
(平日9:30～15:30 土日祝は受付不可)

詳細については申込み時にお知らせします

申込・問合先/伊勢リサイクルプラザ

TEL 0596-38-2800

##### ●もったいない教室開催予定

受講日	教室名	定員
4月2日(土)	牛乳パックでペン立て作り	7名
4月3日(日)	ハギシでフローチ作り	7名
4月9日(土)	毛糸で作る花のリース (布のリサイクル教室)	7名
4月10日(日)	布ぞうり作り	7名
4月16日(土)	牛乳パックで椅子作り	7名
4月17日(日)	EM石けん作り	7名
4月23日(土)	EMぼかし作り	15名
4月24日(日)	マスクケース作り(手芸・小物教室)	7名
5月7日(土)	EM石けん作り	7名
5月8日(日)	布ぞうり作り	7名
5月15日(日)	牛乳パックでペン立て作り	7名
5月21日(土)	EMぼかし作り	15名
5月22日(日)	マスクケース作り(手芸・小物教室)	7名
5月28日(土)	新聞紙でコサージュ作り	7名
5月29日(日)	新聞紙でコサージュ作り	7名
6月4日(土)	牛乳パックで椅子作り	7名
6月5日(日)	ペットボトルで万華鏡作り	7名
6月12日(日)	布ぞうり作り	7名
6月18日(土)	EMぼかし作り	15名
6月19日(日)	EM石けん作り	7名
6月25日(土)	組みものフローチ (布のリサイクル教室)	7名
6月26日(日)	マスクケース作り(手芸・小物教室)	7名

## ● イベント情報

新型コロナウイルス感染症状況により内容の変更、延期または中止になる場合がありますのでご確認ください。

## アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン三重支部



## ● 伊勢大鳥居グリーンライトアップ

世界の祭典「セントパトリックスデー」関連行事として「伊勢大鳥居（鳥居型モニュメント）グリーン（アイルランドナショナルカラー）ライトアップ」を行い、日愛文化交流から伊勢の魅力を国内外へ発信します。

- ・ 開催日／令和4年3月1日(火)～3月17日(木)
- ・ 場 所／御幸道路(倭姫前交差点付近) 楠部町地内
- ・ 入場有無／なし(安全な場所からご覧ください)

問／河口 TEL0596-27-3222

## ■ 三重マジッククラブ

楽しいマジックで毎日を有意義に・・・マジックは指先と頭を使うので、認知症などの防止にはもってこいです。コロナ感染症予防に気を付けながら開催しています。

- ・ 定期的な活動

## ①初めてのマジック教室

- ・ 日時 毎月第3土曜日 13:00～15:00 ・定員 15名

## ②初めての南京玉すだれ教室

- ・ 日時 毎月第4水曜日 18:00～19:00 ・定員 10名

## ③初めてののこぎり音楽教室

- ・ 日時 毎月第4水曜日 19:00～20:00 ・定員 10名

※場所①②③とも 伊勢市生涯学習センターいせトピア

- ・ 参加費 無料 ・ 申込み 電話にてお願いします。
- ・ 期日 開催日の前日まで

問／三重マジッククラブ 大形 TEL090-2574-6733

## ■ クッキングひまわり

手に入れやすい食材でたくさんの野菜も使い簡単に、温かいおもてなし、料理を楽しく学び、お菓子作り、電子レンジの時短料理を作ります。

- ・ 日時／毎月第4火曜日 13:00～16:00
- ・ 場所／伊勢市福祉健康センター 調理室
- ・ 参加費／1,500円から

問／平塚 TEL090-4447-6831

## ■ スマイルレク

新型コロナ禍でまだ以前のような生活には戻れませんが、「一笑一若」笑顔で心と肌にツヤとハリを。レクダンスで一緒に体を動かしませんか。見学お待ちしております。教室の場所時間などは「スマイルレク」のホームページで。

問／森 TEL0596-36-0081

真崎 TEL0596-28-7023

## ■ なかよしこどもクッキング

発育期のお子様の健康を目的として、お友達となかよくたすけあい楽しく料理を作っていきます。季節に合わせたお菓子作りもあります。

- ・ 日時／毎月2回、日曜日 13:00～16:00
- ・ 場所／伊勢トピア 調理室

問／平塚 TEL090-4447-6831



## パーティ報告 消防訓練をしています。

いせ市民活動センターでは利用者の皆様の安心安全を確保するために、年2回、消防訓練を実施しています。火災や地震などがあった時に、迅速に対応し被害を最小にとどめるよう心掛けています。

訓練の内容は、有事があったときに、すばやくスタッフが連携しみんなで対応できるように119番への通報練習、避難誘導経路の確認と誘導の仕方、消火器・消火栓の使い方、非常用館内放送での避難誘導等です。



ネットワーク  
報告

## 災害時に支え合うしくみをつくる全県ネットワーク会議

実施日：2021年11月23日 会場：みえ県民交流センター

## 災害時に、また平時から取り組めることは？

## 災害時に支え合えるネットワークを！

昨今どこにでも起こりうる局地的豪雨や台風による水害、地震などの自然災害が、自分たちが住む街で、三重県で起きた時、私たちには何ができるでしょうか。これは災害・防災分野で活動するNPOだけのテーマではありません。

11月23日「全県ネットワーク型ワークショップ」として、県内各地のNPO、行政職員、学生など様々な立場の人が参加し「つながり」を作り出し「災害時に支えあう地域、三重」を目指して話し合いました。

いせ市民活動センターでも事前に登録団体に参加してもらい意見交換を行い、その時のまとめとして以下のような内容を報告しました。

「意見交換では伊勢は、災害対応の専門的な団体ではない団体が被災時にどのようなことをすればいいか、周りでのどのような支援活動が行われるのか、まだまだ理解が進んでいない。災害が起きたら、どのようなことになるのか、知ることができれば活動ができるかもしれないといった意見、具体的な活動への関心もみられた」



ワークショップ開催時のホワイトボードから

いろんな団体が連携、つながりを持つことで支え合うしくみを作ることの必要性はどの地域も同意見でした。

また、地域内だけでなく全県や全国とのつながりが重要になる有事において、防災や災害時の活動を専門にしている団体は被災時の状況の把握やその時何をすべきかとか具体的に多くの知識や経験を持っています。そんな団体と、それ以外の様々な分野で活動をしている団体や、まち協など地域活動団体、ボランティア担当行政などを結びつけたり、必要なときに連携するためにも、市民活動センターのような中間支援は平時からのネットワーク作りの取り組みが重要などの話題が語られました。

## 参考

災害時に支えあうしくみを作る事業「災害時に支え合う地域、三重…NPOはどう動くか？」

参加者アンケート「2. 災害時・平時から自団体が取り組めること」結果より抜粋

- 団体さんの活動をできるだけ把握し“つなげる”こと。
- 災害があったときのための団体の訓練をしてみたい。
- 食事支援・学習支援（子どもに向けて）
- 一緒に取り組んで何かをする経験を重ねることで、きずなを深めていく。
- 同じ立場の当事者として、積極的に声をあげていく。
- 外国人支援、中間支援組織として団体・市民・行政・社協間のつなぎ、情報提供
- 行政として、様々な市民活動団体とつながり、どの団体にどのような時に助けを求めることができるのか情報を集める。
- 市民活動センターと共働して、定期的につながりを持つていく重要性
- 災害ボランティアセンターの運営（連携体制の改善 IT化研修、被災地支援など）
- 地域（？）で声かけ避難のしくみづくり
- 災害時：被害状況を把握し、支援してくれる団体へつなぐ。平時：コミュニケーションの強化
- 災害時に活用できるスキル・ノウハウの普段づかい
- 社協や市民活動センター（中間支援団体）と平時から災害時を想定した話し合い、顔の見える関係づくり
- 地元ボランティアセンターのスタッフとして避難所での困りごと（ニーズ）を掘り出し、他の支援をつないでいく
- 我が家の防災守りなくして、他の支援なし
- ネットワーク作りのお手伝い
- 自分の団体ではある程度できているが他区域への出方がはっきりと決まっていない
- 災害ボラセンとの連携による情報提供・発信等、協働
- 団体紹介、災害に関する事業
- 女性の視点から行政に提案
- 災害ボランティア登録者への情報通知
- コープみえの災害用備蓄品や各市町との見守り協定
- 地域、コミュニティの平時の祭りや活動が、災害時のセーフティネットに。日常の向こう三軒両隣の人と人のつながりが、非常時の“力”になる

## 「第11回いせ市民活動フェスティバル」開催は中止になりました。

毎年3月に登録団体同士の交流と市民とのふれあいを目的に開催している「いせ市民活動フェスティバル」。実行委員会の中で委員の皆さんが形を変え、開催したいとの意気込みで計画を立てましたが、オミクロン株の感染拡大の勢いが強く、参加者の安全を考え今年度は中止の決定をしました。次年度の開催にご期待ください。

いせ市民活動センター 団体広報支援活動

登録団体限定 参加募集

詳しくは「いせ市民活動センター」まで

**無料貸出**

●事前予約が必要です。

●非接触型赤外線温度計 ★研修会、会議、イベントにご利用ください。

●カメラ&ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン  
(パソコンにカメラや音声機能がついていない場合に使います。)

★リモート会議開催、参加等にご利用下さい。★貸出しはセンター内利用に限定させていただきます。

## IT相談／ZOOM勉強会 随時開催

オミクロン株感染拡大で増々団体活動が難しくなってきました。会議や会員同士の連絡、研修等はオンライン(ZOOM)で行う団体も多くなりました。また、オンライン講習会に南館(パーティ)の2階、第1会議室、第2会議室、第3会議室を貸切って、ZOOMで講演会に臨んでいる団体さんもいます。団体の皆さんがコロナ禍でも会議や講演等に参加できるように、センターはサポートさせていただきますので、ご利用ください。

ZOOMの勉強会は随時、南館(パーティ)フリースペースで実施しています。

## ZTVによる活動紹介「団体活動紹介」出演希望団体募集

ZTVの行政チャンネルで、いせ市民活動センター情報、市民活動ニュースを発信しています。

番組では、団体のイベントのご案内、会員募集、団体活動紹介コーナー「このゆびとまれ」、市民活動のいろいろを博士とパーティが登場して教えてくれる「ミニ講座」、そして、センター長が出演してパーティからの「お知らせ」と、コーナー分けされています。現在は「このゆびとまれ」のコーナーは会員募集、団体紹介を主に実施しています。活動の現場での収録も可能ですのでどうぞご利用ください。いつでも募集しています。

(放送時間枠は3分以内)

### ご相談ください 地域若者サポートステーション

シティプラザ1Fにて随時開設

サポートステーションは職業斡せんではなく、働きたいけど働けない若者や、大人になっても働いていない子供を持った親の相談を受けて、職業的自立に向けてサポートする事業です。

厚生労働省の委託事業として全国で177ヶ所(令和3年度現在)に設置されているうちのひとつで、三重県では津市、四日市市、伊賀市と、伊勢市にサポートステーションがあります。

### いせ若者就業サポートステーション

○開設日

日曜・祝日・水曜をのぞく週5日

○時間 朝9時～夜6時まで

○利用対象者 学校卒業もしくは中途退学又は離職後、一定期間無業の状態にある49歳までの若者と、その保護者。

○受入 キャリアカウンセリング(要予約)

TEL 0596-63-6603

運営主体/厚生労働省からの委託事業として  
NPO法人いせコンビネットが運営しています

いせ市民活動センター

パーティ

伊勢市岩淵1丁目2番29号  
TEL 0596-20-4385  
FAX 0596-20-4386  
Email: skc@e-ise.net

<https://skc.e-ise.net>



■休館日

毎週水曜日

(その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)

12月29日～1月3日

■開館時間

午前9時

～午後10時